令机5年度 学院運営評価調書											
評価項目 (1)-ア 即戦力となる人材の育成【2年生を対象】											
○基本的な現場作業を安全かつ的確に行う技術を有している											
○川上から川下まで産業全体の基礎知識を有している											
具体的な	具体的な姿										
4 4 54	# <i>t</i> /c		`								
1-1 目標		設定(Pla									
				ために	は、林業	・木材産美	業の基礎から応	用まで	冨広い知識や現場で対応できる技術について		
田什ん=田田		导させる必要だ 院の充業生が		2+ VI	アほしょ	₩1=1+	ᄪᄪᄱᆇᅎᄭ	田 レナッフ	タチ炎や生を取得した しっ 中羽を口傷体羽		
現仏と話れ		阮の卒業主が 技術の定着を			・く倒へた	יאובואי	現場TF耒 CW3	をこれる	各種資格等を取得した上で、実習を反復練習		
			四00000000	00							
	•生	徒が修学期間	由にカリキュ	5/./=5	さめられ	ていろ全	ての単位を取る	見.	できるよう、必要に応じて補講や個別指導等		
		テいながら教育				CVOI	くの十四で払	JUT *	てこのの 人の女に応じて 開講 下間が旧会会		
取組内容						き. 実習ね	歯助員の確保.	生徒が治	性路に応じて就業先の現場で必要な知識・技		
	祈る	を習得できる。	₹う、企業等と	連携し	、林業機	械のメン	テナンス技術や	マーケ	ティング手法などの会社経営に必要な知識を		
	習得	导する講義を実	『施するなどの	ひ改善を	を図る。						
1-2 IV	組の網	結果(Do &	k Check)								
~		,,,,, (DO C	U.1301()		実績と原	以果等					
						71773			VC ITH IM		
2-1 成	课指	標の設定(F	Plan)				2-2 成果	指標の流	達成度合(Do & Check)		
	指標	票名	実績	Į	目	標	定量評価		評価分析ほか		
容投 取但?	±.		年度	R4	年度	R5	年度	R5			
具俗似符4						1000/	牛反	KO			
			增減方向		産成率の		目標値				
現場作業を	を安全	かつ適確に行	増減方向	道	達成率の	算式	目標値 実績値				
現場作業をために最低	を安全 氏限必	要な8以上の資	増減方向	道	達成率の		実績値				
現場作業でために最低	を安全 氐限必 得した。	要な8以上の資生徒の割合	増減方向 う 質 増加	(実績化	達成率の 値/目標(算式 直)×100	実績値 達成率				
現場作業でために最低	を安全 氐限必 得した。	要な8以上の資	増減方向 増加 実綱	(実績(産成率の発達人工 (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一)	算式 直)×100 標	実績値		評価分析ほか		
現場作業で ために最低 格等を取得	を安全 氐限必 得した。	要な8以上の資生徒の割合	増減方向 増加 実績 年度	(実績(R4	を成率の 値/目標(目標(日度)	算式 直)×100 標 R5	実績値 達成率	R5	評価分析ほか		
現場作業を ために最低格等を取る お職率	を安全に限め、	要な8以上の資生徒の割合	増減方向	(実績(R4 100%	を成率の 値/目標(目標(年度) 値	算式 直)×100 標 R5 100%	実績値 達成率 定量評価 年度	R5	評価分析ほか		
ために最低格等を取得 格等を取得 就職率 〔指標の説	を安全に限め、特した会場にある。	要な8以上のう生徒の割合票名	増減方向 増加 実綱 年度 値 増減方向	(実績(R4 100%	を成率の 値/目標(目標(日度)	算式 直)×100 標 R5 100%	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値	R5	評価分析ほか		
現場作業でために最低格等を取る就職率に指標の説道内の林刻	を安全 氏限必得した。 指標 期〕 業・木林	要な8以上の資生徒の割合	増減方向 増加 実綱 年度 値 増減方向	(実績(R4 100%	を 値/目標/値 年度 値を でする。	算式 直)×100 標 R5 100% 算式	実績値 達成率 定量評価 年度	R5	評価分析ほか		
現場作業でである。 おいま	を安全 氏限必得した。 指標 期〕 業・木林	要な8以上のう生徒の割合票名	増減方向 増加 実綱 年度 値 増減方向	(実績(R4 100%	を 値/目標/値 年度 値を でする。	算式 直)×100 標 R5 100%	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値	R5	評価分析ほか		
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 【指標の説道内の林詩た生徒の語	を安全と また。 または、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、	要な8以上のうまでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	増減方向 増加 実綱 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率	R5	評価分析ほか		
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 に指標の説 道内の林寺 た生徒の語	を安全がます。 おります。 とはいる。 とはいる	要な8以上のう 生徒の割合 票名 オ産業に就業し	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 【指標の説道内の林美に生徒の調	を安全がます。 おります。 とはいる。 とはいる	要な8以上のうまでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	増減方向 増加 実綱 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率	R5 対応			
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 に指標の説 道内の林寺 た生徒の語	を安全がます。 おります。 とはいる。 とはいる	要な8以上のう 生徒の割合 票名 オ産業に就業し	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 に指標の説 道内の林寺 た生徒の語	を安全がます。 おります。 とはいる。 とはいる	要な8以上のう 生徒の割合 票名 オ産業に就業し	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 に指標の説 道内の林寺 た生徒の語	を安全がます。 おります。 とはいる。 とはいる	要な8以上のう 生徒の割合 票名 オ産業に就業し	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 に指標の説 道内の林寺 た生徒の語	を安全がます。 おります。 とはいる。 とはいる	要な8以上のう 生徒の割合 票名 オ産業に就業し	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業ででは、現場に最低格のでは、現場では、現場では、できます。 はい	を安全を受ける。	要な8以上の計算性の割合 生徒の割合 対産業に就業し では、では、では、では、では、では、できます。 では、では、では、では、では、できます。 では、では、では、では、では、できます。 では、できます。	増減方向 増加 実績 年度 増加 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標(・	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業ででは、現場に最低格のでは、現場では、現場では、できます。 はい	を安全を受ける。	要な8以上の計算性の割合 生徒の割合 対産業に就業し では、では、では、では、では、では、できます。 では、では、では、では、では、できます。 では、では、では、では、では、できます。 では、できます。	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 に指標の説 道内の林寺 た生徒の語	を安全を受ける。	要な8以上の計 生徒の割合 素名 対産業に就業し 面(Do &) 定量評価	増減方向 増加 実績 年度 増加 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率				
現場作業を ために最低格等を取る 就職率 (指標の材) (指標の材) (指標の材) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	を低得 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	要な8以上の計算を表現した。	增減方向 增加 年度 值 增減方向 增加 Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作業を た格等を取る 就職 標の (指標の の 計画 (指標の の 計画 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を 氏得 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要な8以上の計算性の制合	增減方向 增加 年度 值增減方向 增加 Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作業を た格等を取る 就職 標の (指標の の 計画 (指標の の 計画 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を 氏得 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要な8以上の計算を表現した。	增減方向 增加 年度 值增減方向 增加 Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作業を た格等を取る 就職 標の (指標の の 計画 (指標の の 計画 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を氏得 明 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要な8以上の計算を表現した。 要な8以上の計算を表現した。 対産業に就業した。 では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位	增減方向 增加 年度 值增減方向 增加 Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作 現場作 で で で で で で で で で で で で で	を氏得というでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	要な8以上の計算性の制合	増減方向 増加 実績 作値 増加 Check) な Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作業 現場に また は は は は は は は は は は は は は	を氏得というでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	要な8以上の計算を表現である。 要な8以上の計算を表現である。 「「「「「「」」」である。 「「」」では、「」」では、「」」である。 「「」」では、「」」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	増減方向 増加 実績 作値 増加 Check) な Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作 現場作 で で で で で で で で で で で で で	を氏得というでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	要な8以上の計算を表現である。 要な8以上の計算を表現である。 「「「「「「」」」である。 「「」」では、「」」では、「」」である。 「「」」では、「」」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	増減方向 増加 実績 作値 増加 Check) な Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作 現場作 で で で で で で で で で で で で で	を氏得というでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	要な8以上の計算を表現である。 要な8以上の計算を表現である。 「「「「「「」」」である。 「「」」では、「」」では、「」」である。 「「」」では、「」」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	増減方向 増加 実績 作値 増加 Check) な Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場作 現場作 で で で で で で で で で で で で で	を氏得り、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では	要な8以上の前生徒の割合 「大きなの割合」 「大きないの割合」 「大きなの割合」	増減方向 増加 実績 作値 増加 Check) な Check)	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場に 現場に で で で で で で で で で で で で で	を氏得り、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では	要な8以上の前生徒の割合 「大きなの割合 「大きなの	増減方向 増加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価 成果指標 あより	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場に 現場に で で で で で で で で で で で で で	を氏得り、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では	要な8以上の前生徒の割合 「大きなの割合」 「大きないの割合」 「大きなの割合」	増減方向 増加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価 成果指標 あより	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		
現場に 現場に で で で で で で で で で で で で で	を氏得り、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では	要な8以上の前生徒の割合 「大きなの割合 「大きなの	増減方向 増加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価 成果指標 あより	(実績) R4 100% (実績)	を成率の値/目標値 年度 値を成率の 値/目標値	算式 直)×100 標 R5 100% 算式 直)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針		

令和5年度 学院運営評価調書

	7和5年度 子院建宮評恤調書												
	平価項目	1 7											
	○現場の統括管理や労働安全衛生、新たな技術による生産性向上など指導や企業経営マネジメントなどに関する知識												
	を有している												
	本的な姿 〇分話や特型の振力を発信できる能力を有している												
六	仲別る安	○対話や情報分析を通じ地域の活性化に貢献する能力を有している											
1_1	-1 目標等の設定(Plan)												
171				ポナフ	+ 141-14	· ^\\	一門 フラー	ラニミン/ニュ	トや安全管理等に関する知識について習得さ				
		正実 守 の中核を せる必要がある。	担づ人材を目	双9つ	ハこめハこは	、止耒稅	呂に対りのマイ	トンメノ	トや女王官理寺に関する知識について首侍さ				
тыл	_		~	± Λ.α+-	⊥ ≠ <i>∞ </i>	- +	<u>↓</u> ↓	L W I - I -					
巩小		果題 → ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
	٦	もに、自ら考え行動できるよう教育活動を進める必要がある。											
	<u> </u>	TT ***	**********	Ф	. ^ ** TIL =	: 1	N N +0=#AT + 17	тте и	ᅋᄮᇵᄝᆘᅪᇰᄵᆇᅖᅀᆇᆑᄼᅓᅖᄓᄜᅶ				
	• 7	怀美経呂首や林	美機械メー刀 これ トン 芸美	一切安	全官埋真	性有寺の	り外部講師を指えている	(明し、特	「門的な見地から経営理念や安全管理に関す 「え、カリキュラムの充実を図る。				
D													
月X i									「地域活性化」と企業会計・マーケティングの				
	部	講、経営計画作	・成の美省寺を	イナフリ	栓呂石頁	成]の2_	」一人を新たに	開講りる	D ₀				
1-	2 取組(の結果(Do &	& Check)										
					実績と成	果等			定性評価				
									~				
2-		旨標の設定 (I						指標の流	達成度合(Do & Check)				
	指	標名	実績	Į	目	標	定量評価		評価分析ほか				
出结	原子 老の	割入	年度	R4	年度	R5	年度	R5					
ハベルド			/ ±	47%	/±	= 001	十亿	L'O					
12	優秀者の	がい											
	悪の説明〕	前 ————————————————————————————————————	増減方向		値 達成率の第	50% 拿式	目標値						
〔指 「林	票の説明〕業経営」の	 分野において成	増減方向										
〔指 「林 評価	票の説明〕 業経営」の? iが「良」(7	分野において成 0~79点)以上	増減方向	į		拿式	目標値 実績値						
〔指 「林 評価	票の説明〕業経営」の	分野において成 0~79点)以上	増減方向	į	達成率の第	拿式							
〔指 「林 評価	票の説明) 業経営」の: iが「良」(7 :生徒の割:	分野において成 0~79点)以上 合	増減方向 績 を 増加	(実績	達成率の第 値/目標値	章式 宣)×100	実績値 達成率		証価分析ほか				
〔指札 「林道 評価 得た	票の説明〕 業経営」の: iが「良」(7 :生徒の割: 推	分野において成 0~79点)以上 合	増減方向 績 を 増加 実績	(実績(を成率の第位/目標値 単一目	算式 ⑤)×100 標	実績値 達成率 定量評価		評価分析ほか				
〔指札 「林道 評価 得た	票の説明) 業経営」の: iが「良」(7 :生徒の割:	分野において成 0~79点)以上 合	増減方向 績 を 増加 実績 年度	(実績) R4	を成率の 値/目標値 目標値 日度 年度	章式 (i)×100 標 R5	実績値 達成率	R5	評価分析ほか				
「指揮」「おり」「おり」「おり」「おり」「おり」「おり」「おり」「おり」「おり」「おり	票の説明) 業経営」の会 が「良」(7 生徒の割け 推 優秀者の記	分野において成 0~79点)以上 合	増減方向 績 増加 実績 年度 値	(実績) R4 89%	を成率の 値/目標値 目標値 年度 値	京式 (a)×100 標 R5 50%	実績値 達成率 定量評価 年度	R5	評価分析ほか				
「指揮」では、「おける」では、「はいる」では、これる。」では、これる。」では、これる。」では、これる。」では、「は、これる。」では、これる。」では、これる。」では、これる。」では、これる。」では、これる。」では、これる。」では、これる。	票の説明〕 業経営」の: が「良」(7 生徒の割け 推 優秀者の記明〕	分野において成 (0〜79点)以上 合 <u>「標名</u> 割合	増減方向 精を増加 実績 年度 値 増減方向	(実績) R4 89%	を成率の 値/目標値 目標値 日度 年度	京式 (a)×100 標 R5 50%	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値	R5	評価分析ほか				
「指は「計算のでは、 「指数をはない。」 「はない。」 「	票の説明〕 業経営」の: が「良」(7 生徒の割け 上生徒の割け 優秀者の記 票の説明〕 選択実習し	分野において成 (0~79点)以上 合 <u>「標名</u> 割合 において成績評	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向	(実績) R4 89%	重成率の第位/目標値 年度 値 重成率の第	京式 (i)×100 標 R5 50% (i) 50%	実績値 達成率 定量評価 年度	R5	評価分析ほか				
[指标] 成 指給が	票の説明〕 業経営」の が「良」(7 生徒の割に 生徒の割に 優秀者の記 票の説明〕 選択実習に 良」(70~)	分野において成 (0〜79点)以上 合 <u>「標名</u> 割合	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向	(実績) R4 89%	を成率の 値/目標値 目標値 年度 値	京式 (i)×100 標 R5 50% (i) 50%	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値	R5	評価分析ほか				
「指は「神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神	票の説明〕 業経営」の が「良」(7 生徒の割に 生徒の割に 種類の説明 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで	分野において成 0~79点)以上 合 1標名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 単加 年度 値 増減方向 価た	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率	R5	評価分析ほか				
「指は「神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神	票の説明〕 業経営」の が「良」(7 生徒の割に 生徒の割に 種類の説明 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで	分野において成 (0~79点)以上 合 <u>「標名</u> 割合 において成績評	増減方向 増加 単加 年度 値 増減方向 価た	(実績) R4 89% (実績)	重成率の第位/目標値 年度 値 重成率の第	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率	R5	評価分析ほか				
[指林] 成 [指総が生 3 -	票の説明〕 業経営」の が「良」(7 生徒の割に 生徒の割に 種類の説明 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで	分野において成 0~79点)以上 合 1標名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 単加 年度 値 増減方向 価た	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率	R5					
[指林] 成 [指総が生 3 -	票の説明) 業経営」の が「良」(7 生徒の割が 生徒の割が 優秀者の 悪の説明到 、選択(70~) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	分野において成 0~79点)以上 合 禁名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
[指林] 成 [指総が生 3 -	票の説明) 業経営」の が「良」(7 生徒の割が 生徒の割が 優秀者の 悪の説明到 、選択(70~) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	分野において成 0~79点)以上 合 禁名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
[指林] 成 [指総が生 3 -	票の説明) 業経営」の が「良」(7 生徒の割が 生徒の割が 優秀者の 悪の説明到 、選択(70~) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	分野において成 0~79点)以上 合 禁名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
[指林] 成 [指総が生 3 -	票の説明) 業経営」の が「良」(7 生徒の割が 生徒の割が 優秀者の 悪の説明到 、選択(70~) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	分野において成 0~79点)以上 合 禁名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
[指林] 成 [指総が生 3 -	票の説明) 業経営」の が「良」(7 生徒の割が 生徒の割が 優秀者の 悪の説明到 、選択(70~) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	分野において成 0~79点)以上 合 1標名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
[指林] 成 [指総が生 3 -	票の説明) 業経営」の が「良」(7 生徒の割が 生徒の割が 優秀者の 悪の説明到 、選択(70~) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	分野において成 0~79点)以上 合 1標名 割合 において成績評 79点)以上を得	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
「指林価た」 様 指合 「 徒	票の説明) 業経営」の が「良」(7 生徒の割に 生徒の割に 優秀者の説実 での説実で での説実で での説実で での説と での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで での記すで でのこので でので で	分野において成 0~79点)以上 合 i標名 割合 において成績評 79点)以上を得 平価 (Do &) 定量評価	増減方向 増加 実績 年度 増減方向 増加 円面 円面 円面 円面 円面 円面 円面 円	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
「指林価た」 様 指合 「 徒	票の説明] 業経良」(7 生徒の割) 優秀者の説実での説実でである。 東の説実でである。 東の説実でである。 東の説実でである。 1 一次記 では、一次記 では、一次記 では、一次記	分野において成 0~79点)以上 合 部標名 割合 において成績評 79点)以上を得 平価 (Do & 定量評価	増減方向 増加 実績 年度 値 増減方向 増加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
「指林価た」 様 指合 「 徒	票の説明] 業経良」(7 生徒の割) 優秀者の説実での説実でである。 東の説実でである。 東の説実でである。 東の説実でである。 1 一次記 では、一次記 では、一次記 では、一次記	分野において成 0~79点)以上 合 請標名 割合 において成績評 79点)以上を得 平価 (Do & 定量評価	増減方向 増加 実績 年度 増減方向 増加 円面 円面 円面 円面 円面 円面 円面 円	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 年度 値を変のすでする。 値/目標値を対象のする。	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率						
指标 成 指統が生 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票の説明」の対する。 業経度」(7 生徒の割けでは、生徒の割けでは、生徒の。 では、一次では、では、一次では、 1 一次には、 2 二次に呼びている。 2 二次に呼びている。	分野において成 0~79点)以上 合 書標名 割合 において成績評 79点)以上を得 平価 (Do & 定量評価 ア価 (Do & で量評価 実施方法	增減方向 增加 年度 值 增減方向 增加 Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
「指林価た」 様 指合 「 徒	票の説当」のでは 悪経しましまででは に生徒の事ででは、 を表しますでは、 を表しますでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	分野において成 0~79点)以上 合 情標名 割合 において成績評 79点)以上を得 平価 (Do & 定量評価 定量評価 実施す法 と踏まえた目標や	#	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指标 成 指統が生 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票の説明の会議を表現して、 無経には、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	分野において成 0~79点)以上 合 *標名 割合 において成績評 79点)以上を得 で (Do & で 正量評価 ・ (Do & で 重要にあった。 でででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	#	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指林・一成 「指統が生 3一」 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票の説明の会談では、 京経官以のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	分野において成 〇~79点)以上 合 「標名 割合 において成績評 79点)以上を でのででである。 「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	増減方向 増加 単加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指标 成 指統が生 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票の説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの記当のの記当のの記述を表する。 「一般のでは、一般	分野において成 0~79点)以上 合 *標名 割合 において成績評 79点)以上を得 で (Do & で 正量評価 ・ (Do & で 重要にあった。 でででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	増減方向 増加 単加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指林・一成 「指統が生 3一」 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票の説明の会談では、 京経官以のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	分野において成 〇~79点)以上 合 「標名 割合 において成績評 79点)以上を でのででである。 「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	増減方向 増加 単加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指林神(は) は 指合りは 3 - 5 - 1 - 1 - 1	票の説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの記当のの記当のの記述を表する。 「一般のでは、一般	分野において成 〇~79点)以上 合 「標名 割合 において成績評 79点)以上を でのででである。 「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	増減方向 増加 単加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指林・一成 「指統が生 3一」 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票の説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの記当のの記当のの記述を表する。 「一般のでは、一般	分野において成 〇~79点)以上 合 「標名 割合 において成績評 79点)以上を でのででである。 「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	増減方向 増加 単加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指林・一成 「指統が生 3一」 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票の説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの説当のの記当のの記当のの記述を表する。 「一般のでは、一般	分野において成 〇~79点)以上 合 「標名 割合 において成績評 79点)以上を でのででである。 「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	増減方向 増加 単加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指 指	票業が生 優 票選支の 1 性 2 本	分野において成 0~79点)以上 合 情報名 割合 において成 (大型) でででである。 ででは、 ででである。 ででである。 でである。 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でので、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でので、 でので	増減方向 増加 単加 年度 増減方向 増加 Check) 総合評価	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指林・一成 「指統が生 3一」 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	票 (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	分野において成 〇~79点)以上 合 「標名 割合 において成績評 79点)以上を でのででである。 「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	増減方向 増減方向 増加 年度 増減方向 低た Check) Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指 指	票 (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	分野において成 0~79点)以上 香標名 割合 において成長を 1までは、 1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の	増減方向 増減方向 増加 年度 増減方向 低た Check) Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				
指 指	票 (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	分野において成 0~79点)以上 香標名 割合 において成長を 1までは、 1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の	増減方向 増減方向 増加 年度 増減方向 低た Check) Check)	(実績) R4 89% (実績)	を成率の算値/目標値 ・	京式 (i)×100 標 R5 50% 享式 (i)×100	実績値 達成率 定量評価 年度 目標値 実績値 達成率		方針				

令和5年度	隻 学	院運営評価	調書									
評価項目 (2)身につけるべき能力を習得するための教育課程 〇森林調査・情報活用、林業経営、野生動物管理など的確な森林調査・プランニング力を習得する課程となっている												
○森林調食・情報活用、杯美経宮、野生動物官埋など的傩な森林調食・ノフノーノク刀を省得する課程となっている ○育林技術、高性能林業機械などの機械操作・路網整備、森林保全など確かな森林施業の実践力を習得する課程となっ												
目は的な次でいる									日内する時代により			
□ ○森林活用、木育、木材の加工・利用など森林・林業の活用力を習得する課程となっている □ ○コミュニケーションや合意形成、環境配慮、SDGsなど業務を円滑に進める行動力を習得する課程となっている										旦とかっている		
○コミューソーンヨノで古息形成、環境配慮、SDGSなど美務を円滑に進める行動刀を省侍する課程となっている												
1-1 目標	1-1 目標等の設定(Plan)											
		走に対し卒業						11- <i>15</i> -7-1	先往の往去吐服を伝 め	1 1/4 1/ 0/433		
現状と課題		ヺ誅程に関り 確保する必要		調査の	信果を踏る	まえ、休ま	を機械寺の美省	に徐る	生徒の待ち時間を短縮し	、一人当たりの練省		
				門学校	その覚書	に基づき	・ 林業教育の	充実を図	図るとともに、国際感覚を	身につけた人材を育		
		る必要がある 05年度教育		. 授業を	\$計画的#	かつ適切	に実施する。					
	・就職	敵分野に応じ	た知識・技術					lなども!	踏まえより専門的な知識	を学ぶことができる		
取組内容		は科目等の開発 レープ単位で		どル	人数の訊	による宝	施休制を整え	宝羽を	効率的に実施する。			
	۸ر۱۰	ベリア林業専門	『学校と連携	し、教育	ゴコグラ	ムの開発			が平られて大売する。 組むとともに、高性能林業	機械シミュレーター		
1 0 =		大会を開催す		内容の	充実を図	る。						
1-2 取	組の新	i果(Do 8	k Check)		実績と成	建				定性評価		
					大限に以	(本寸				是江計 圖		
2-1 成	果指標	票の設定(F	Plan)				2-2 成果	指標の	達成度合(Do & Ch	eck)		
	指標		実終		目		定量評価		評価分析			
生徒の授業	満足関	度評価	<u>年度</u> 値	R4 86%	<u>年度</u> 値	R5 70%	年度	R5				
〔指標の説明	明〕		増減方向		産成率の第		目標値					
授業内容において「押	関する	るアンケートに 足」以上と回答	_	/ 中/主	法 / 口 播 /	±) \ 100	実績値					
した生徒の			等 増加 	(夫領	値/目標値	₫)×100	達成率					
	指標	名	実終		目		定量評価		評価分析	fほか		
企業等の運	営評価	5	<u>年度</u> 値	R4	<u>年度</u> 値	R5 70%	年度	R5				
〔指標の説			增減方向] j	産成率の第		目標値					
企業へのアン	かト調 t オ スミ	査において、 呼価を「概ね遜	学 増加	(中)建	值/目標値	±) \ 100	実績値					
切」と回答し	した者の	の割合	望 垣川	(天神)	但/ 日标心	⊒ /∧100	達成率					
3-1 -	次評個	西 (Do & 0	Check)	4 改	善策(Action	1)					
定性評価	西	定量評価	総合評価		対応方針							
			-1 1)									
3-2 =	次評位		Check)	評価								
		克口 施方法		計画					思兀			
1 改善	策を踏	まえた目標や	成果指標									
小道!		定をされてい 	るか。	J								
		組内容 成に向けた耶	組みは適									
切が。			.,									
3 ₃₅≆≏	改	善策	アハフか									
	をは過	切に立てられ	、 にいるか。]								
1 1				1	I							

令和5年度 学院運堂評価調書

令和5年度 学院連宮評価調書													
評価項目 (3)能力のある生徒の受け入れ ○基礎的な思考力・判断力・表現力や文章の理解・作成力がある者を受け入れている													
	○基礎的な思考刀・判断刀・表現刀や又章の埋解・作成刀かある者を受け入れている ○北海道の林業・木材産業への強い関心がある者を受け入れている												
	○社会人や道内外からの入党者など名様な人材を確保している												
具	具体的な姿												
1-1	目標等	Fの設定(Pla	n)										
		・昨年度の実績を	踏まえ、入学	試験を	適切に実施	施すると	ともに、オンラ	インなと	でツールを活用し、道内タ	ト向けの学院説明会			
									する必要がある。				
現状	と課題	・今後の道内高校	き生の減少を見	据え、	これまで」	以上に幅	広く人材を確保	呆する必	要がある。				
		(小古田 の共業)	****	1/1. + 17	7744	LL XIV 11 \14) - 0 TII	Ma + 1 + 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1				
	,	・他府県の杯業ス 機械の操作実習	子校との差別など独自の力	川と区 土っ=	引るため、ア ラノ、オンどを	怀美九進 済内从1	国ノイノフノト - 庁と発信する	・での研	修をはじめ、シミュレータ-	一による局性能杯業			
									いては、筆記試験を行わる	ぎ オンライン西垵			
取約	11内容	のみによる選考	/文献成去で順 とするなど新力	三に導え	入し、入学	ト以上の	戦物性無のので そのる。	シカにっ	/いては、半記試験で1J1/J	タ、オンプイン回接			
		・農業高校や入学											
		・卒業生の就業後											
1-1		の結果(Do											
	-1/1/14	- Janes (DO			実績と成	果等				定性評価			
					JUNE PA	-1-13				, ⊂ ±μ Ψ			
										_			
2-		指標の設定(指標の	達成度合(Do & Che				
		指標名	実績		目		定量評価		評価分析	ほか			
入学	者数		年度	R4	年度	R5	年度	R5					
(46 1 9	票の説明)	1	植地球大点	34人	値	40人	目標値						
	stい説明. 院の入学		増減方向	Į.	達成率の算	すれ							
二十	近り八寸	一日奴	増加	(宝績	値/目標値	ī)×100	実績値						
			78/11	()//199		2//100	達成率						
		指標名	実績	E 3	目	標	定量評価		評価分析	ほか			
Ø +¥			年度	R4	年度	R5		חר	וון כלוחוזים				
)入学者数	値	11%	値	11%	年度	R5					
	票の説明)		增減方向	ì	達成率の算	式	目標値						
入学	者に占め	る社会人や道外		/ /-	/+ / D # //	-\ 400	実績値						
牙白	の割合		増加	(美績	値/目標値	1)×100							
		評価(Do &		4 战	対善策(Action	1)						
Ţ	2性評価	定量評価	総合評価					対応	方針				
3-	2 二次		& Check)										
	喜	严 価項目		評価					意見				
	_, _,	実施方法											
1	改善策を	を踏まえた目標や こ設定をされてい	ツ成果指標 ハスか										
	ᄱᆞᄤᄳ		י מוזי.	1									
		取組内容	7007.141*										
2	目標等の 切か。	の達成に向けた耳	X組みは適										
$\mathbb{H}^{\mathbb{L}}$	٥. ٢١٢٦		J										
		改善策	٦										
3	改善策	は適切に立てられ	いているか。										

令和5年度 学院運営評価調書												
評価項目 (4)学院の適切な運営												
	○社会のニーズを踏まえた教育環境を整備している											
○教育活動等に関する情報を公開している ○対際に関する古授体制を整備している												
具体的な姿 │○就職に関する支援体制を整備している ○学院の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を行っている												
	・・・・・ ○字阮の教育資源や施設を活用した在会・地域員駅を行っている ○生徒生活に対する支援体制を整備している											
	○○卒業生に対するフォローや連携等を行う体制を整備している											
1-1 目標:	1-1 目標等の設定(Plan)											
		•	や教暗	戦員の利便	[性を高	めるため、効率	的な学	完運営ができる環境を整え	える必要がある。			
	・出席日数や成績評価など生徒や教職員の利便性を高めるため、効率的な学院運営ができる環境を整える必要がある。 ・学校生活や運営状況等を広く周知するため、保護者や関係機関への情報発信が必要である。											
現状と課題	現状と課題 ・卒業生を道内の林業・木材産業に着実に就業させ、定着を図る必要がある。											
	・社会のニーズを踏まえた教育環境を支援するシステムを活用し、学院の運営を行う。											
								を引う。 物や情報誌への寄稿を積極	頭的に行う。			
取組内容	・無料職業紹介事業											
	・卒業生の就業後の	の状況等を調	査し、	必要に応	じて指導	・助言を行う。						
1-2 取約	Iの結果(Do &	Check)							<u> </u>			
				実績と成	果等				定性評価			
2 1 4		1 \				2 2 4 11	151± V.	生	1.			
∠─ I 成身	 指標の設定 (P 指標名	ıan <i>)</i> │ 実績		目	100	 	指標の	達成度合(Do & Ch é 評価分析				
		年度	R4	年度	信 R5			計判四分例	IY/I,			
定期的な情	報発信		.2万回		1.2万回	年度	R5					
〔指標の説明		増減方向	這	産成率の算	完全	目標値						
	SNSで発信した学	4 134.1				実績値						
阮建呂に関	する情報の閲覧回数	増加 増加	(実績(值/目標値	i)×100							
	指標名	実績		目	1 ==	定量評価		 評価分析	Iエか			
		年度	R4	年度	信 R5			計画力机	19/J,			
学院に対する	る満足度		92%	値	80%	年度	R5					
〔指標の説明		増減方向	這	産成率の算		目標値						
生徒へのアンク	ケート調査において、	124.1 -		H /- I		実績値						
子阮建呂に ね満足 と回	対する満足度を「概]答した者の割合	増加	(実績(值/目標值	i)×100	達成率						
		·1 1 \	A 76	· <i>***</i> /	Λ -4: - ··							
	欠評価(Do & C 1 定量評価		4 🖔	善策()	ACTION	1)	÷+r÷	—————————————————————————————————————				
定性評価	1	総合評価					対応	刀町				
3-2 =	欠評価 (Do &	Check)										
	評価項目	J	評価					意見				
	実施方法											
1 改善策	を踏まえた目標やん	成果指標										
が適切]に設定をされてい	න ්ං										
	取組内容	.=										
2 目標等 切か。	の達成に向けた取る	組みは適										
المالك،		J										
 3 _{⊐h} <u>≠</u> ∽	改善策	١										
3 │ 改善策	改善策 は適切に立てられ ⁻	ているか。										
			l									